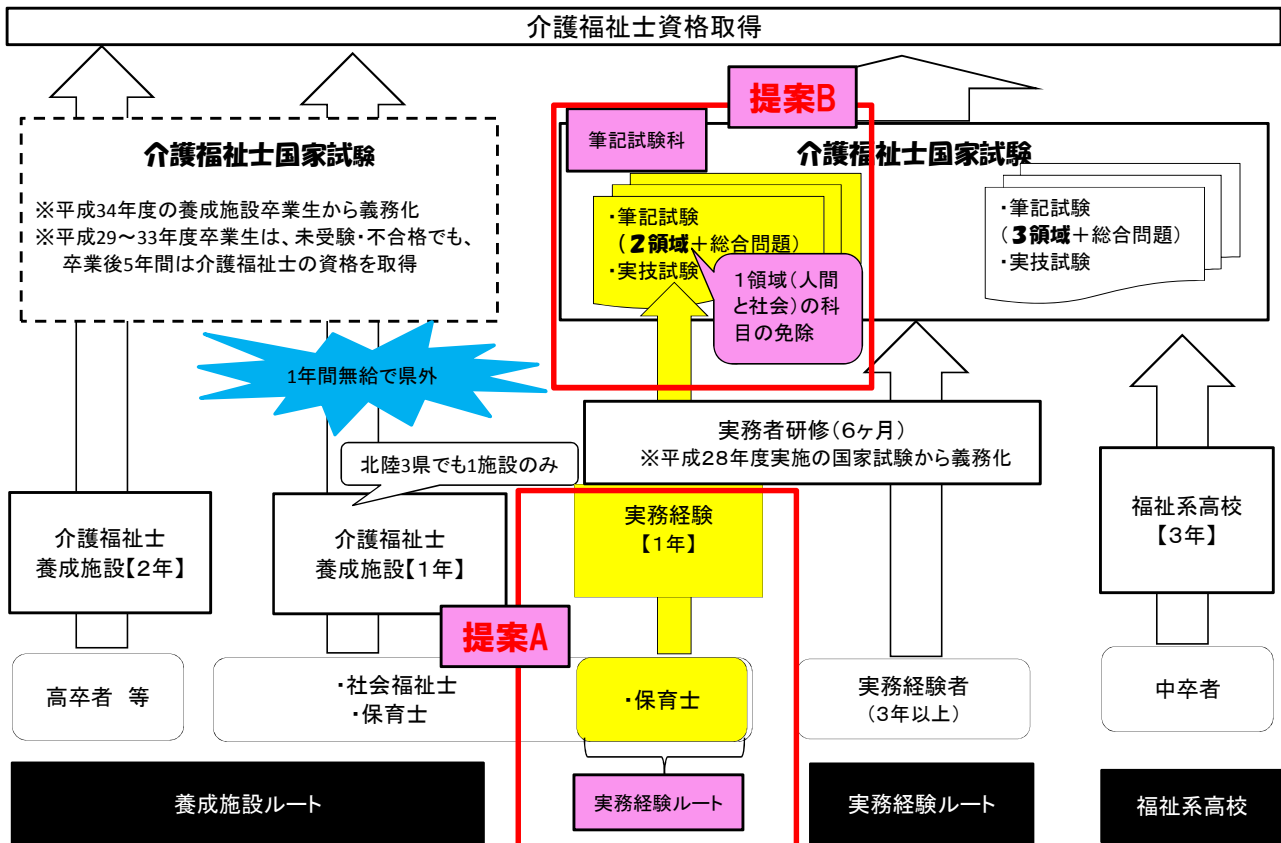


# 1 保育士が介護福祉士になる場合…



**提案A**

現状

◇ 保育士が、実務経験ルートで介護福祉士になるには、3年以上の実務経験が必要

**提案**

◆ 保育士は、1年間の実務経験で受験資格を得られることとする

【理由】  
 保育実習や心理学、保健など介護現場に活かせる教科だけでなく、相談援助や社会的養護も学んでいる(通常、保育士は高校卒業後、保育士養成施設2年を経ているので、実務経験1年で十分か)  
 ←実務経験1年の明確な根拠はなし

**提案B**

現状

◇ 保育士が介護福祉士試験を受ける場合、筆記試験科目は3領域+総合問題となっている。

**提案**

◆ 介護福祉士試験の『領域「人間と社会」』については、保育士試験の「社会福祉」科目と共通的な内容であることから、「人間と社会」を免除し、2領域+総合問題とする(120問中、16問免除)

共通的な試験科目(提案2)

## 介護福祉、保育士の試験科目比較

試験区分	介護福祉士試験	保育士試験
一次試験	筆記試験 全120問 (3領域+総合問題)	筆記試験 全160問
内訳	【領域:人間と社会】 1 人間の尊厳と自立 2 人間関係とコミュニケーション 16問 3 社会の理解  【領域:介護】 1 介護の基本 2 生活支援技術 など  【領域:こころとからだのしくみ】 1 発達と老化の理解 2 認知症の理解 など  総合問題 3領域の知識・技術について横断的に問う問題を、事例形式で出題	社会福祉 20問 児童家庭福祉 保育の心理学 子どもの保健 子どもの食と栄養 保育原理 教育原理 社会的擁護 保育実習理論
二次試験	実技試験	実技試験